精神分析的な視点を学ぶ

2025年度
関門精神分析研究会のご案内

2025年度 関門精神分析研究会についてご案内いたします。本研究会は、文献講読と事例検討からなる、精神分析や精神分析的な心理療法についての学びを深めていくことを目的とした会です。

前半の文献講読では、精神分析的な心理療法を基本から学ぶことを目的に、A・ストー著『心理面接の教科書』を丁寧に読み進めていこうと考えています。2025年度からは新たな試みとして、冒頭に杉本もしくは兵頭が文献からの連想や感想などを自由に語るという時間を設けることといたしました。これによって、参加者の理解が深まったり、参加者間の議論がより活発になるのではないかと考えております。なお、2025年度は試験的に文献講読と事例検討を前後して実施してみようとも考えております。後半の事例検討では、発表者も参加者も自分の心が感受したものや思考したことを率直に語り合いながら、そしてその場に起きていることについても着目しながら事例理解を深めていきます。これは、私たちが自分自身の心や今ここで起きていることに注意を向けながら思考し続けることは、精神分析的な臨床力を高める上で重要な要素であると考えているからです。

参加要件は、①臨床心理士や公認心理師の有資格者であること、②事例の提示が可能であることの2点です。関心のある方は下記連絡先までお申し込み・お問い合わせください。

＊臨床心理士の資格更新に関わる研修会（定例型）として申請を予定しております。

【日時・場所・参加費など】

日時：2025年4月19日（土）14:30～17:00

＊原則第3土曜日の14:30 - 17:00に開催予定ですが、6・2月は第4土曜日の開催となります。

場所：オンライン（GoogleMeet）

＊原則オンラインでの開催となりますが、5月（下関）と10月（北九州）は現地にて開催いたします。

参加費：通年参加の場合12,000円、1回毎の参加の場合1,500円

＊振込先は参加決定後にご案内いたします。

定員：12名まで

講読文献：A.ストー著『心理面接の教科書』創元社

【お申し込み・お問い合わせ】

兵頭心理オフィス（代表：兵頭）

e-mail：kokoro@hyodo-psychotherapy.com

【主催】

兵頭心理オフィス（兵頭憲二・日本精神分析学会認定心理療法士）、下関臨床心理オフィス（杉本正志・日本精神分析学会認定心理療法士）